



当JA園芸生産出荷協議会 ミニトマト部会が平川市長と対談

9月29日、高井啓さんの圃場で、平川市が実施する「ひらかわミライ・キャンバス」が行われました。

「ひらかわミライ・キャンバス」とは、豊かなまちづくりの実現に向けて、市長と市民が日頃の活動やまちづくりについて、フラットに対話する取り組みです。

当JA園芸生産出荷協議会ミニトマト部会から平川市に申し込みを行い、工藤貴弘平川市長をお迎えして、ミニトマト部会員との対談が実現しました。

対談では、「日頃感じていること」をはじめ、「スマート農業について」「若手の就農支援」「平川市のミニトマト産地としてのPR」「ミニトマトのブランド化」「人件費問題」「平川市に観光で訪れた方にミニトマトを使った料理を楽しんでもらうための取り組み」など、農業や地域のこれからについて様々な意見が交わされました。生産者の皆さんが日頃感じていることや、これからの農業・地域づくりへの思いを直接伝える貴重な機会となりました。



工藤平川市長と対談するミニトマト部会員



ミニトマトのハウスを視察する工藤平川市長



「青の煌めきあおもり国スポ」 出場選手激励式

9月29日、「青の煌めきあおもり国スポ」に選手として出場する当JA職員2人への激励式が行われ、奈良寧組合長から両選手へ激励の目録が贈呈されました。

激励式では、「初戦から強い相手と当たり、大変ですが、ベストを尽くして頑張ります」と両選手から大会への意気込みが述べられました。



奈良組合長(中央)から目録を受け取ったJA職員



産直センターひらかで 柏木農業高校生が即売会を実施

9月17日、産直センターひらかで、柏木農業高校環境工学科3年の生徒による即売会が行われました。

即売会では、校内で生徒たちが育てた農作物を使った、山ぶどうジャム、アップルカシスジャム、カシスジャム、りんごジュース、レタス、梨を販売しました。生徒たちは元気に商品をPRし、来店者に自分たちが育てた農作物や加工品の魅力を紹介しました。



産直センターひらかで即売会を行った柏木農業高校の生徒

